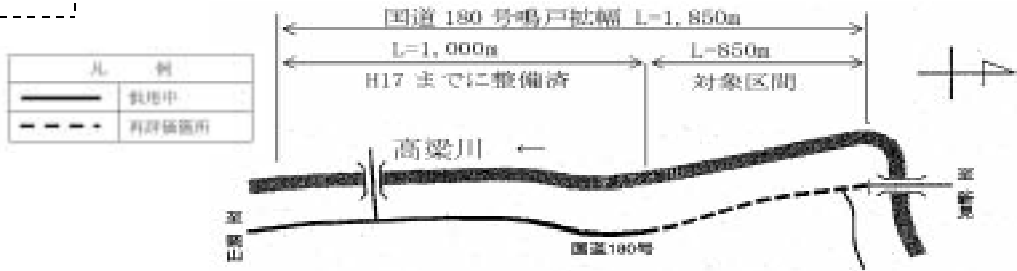


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道180号 <small>なるとかくふく</small> 鳴戸拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	岡山県						
起終点	自：岡山県高梁市津川町今津 至：岡山県高梁市鳴戸				延長	1.9 km						
事業概要	一般国道180号は、岡山県岡山市から島根県松江市に至る延長205kmの主要な幹線道路であるほか、山陽と山陰を結ぶ重要な路線である。鳴戸拡幅は、JR伯備線と一級河川高梁川に並行する現道の拡幅で、国道180号の岡山県内区間で唯一の未改良区間の解消を目的とした延長1.85kmの道路である。											
H 4年度事業化	都市計画決定なし		H 4年度用地着手	H 4年度工事着手								
全体事業費	約27億円	事業進捗率	84%	供用済延長	1.0 km							
計画交通量	12,200台/日											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 8.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 5/33 億円 (事業費：4/31億円) (維持管理費：1/2億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 41/91 億円 (走行時間短縮便益：40/89億円) (走行費用減少便益：1/2億円) (交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成18年								
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C = 9.2 (交通量+10%)    B/C = 7.6 (交通量-10%) 事業費変動：B/C = 7.7 (事業費+10%)    B/C = 9.1 (事業費-10%)											
事業の効果等	・国土地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難箇所が改善される） ・災害への備え（第一次緊急輸送道路としての位置づけあり） <span style="float: right;">他9項目に該当</span>											
関係する地方公共団体等の意見	国道180号鳴戸拡幅は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、高梁市をはじめとする関係4市の首長により構成される一般国道180号岡山県整備促進期生会により早期整備の要望（平成17年7月19日）を受けている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし。											
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに1.0kmを部分供用しており、残区間について、一部用地補償協議が難航したが、平成16年度までに用地買収を完了し、工事を推進している。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き工事を推進し、平成19年度に全線供用予定である。											
施設の構造や工法の変更等	特になし											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div style="margin-right: 20px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>——</td><td>敷地中</td></tr> <tr><td>- - -</td><td>再評価箇所</td></tr> </table> </div> <div>  </div> </div>						凡 例		——	敷地中	- - -	再評価箇所
凡 例												
——	敷地中											
- - -	再評価箇所											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。